平成25年度事務事業評価シート	該当事業（評価対象外事業は基本情報のみ記載）		
	一般事務	公共建設事業	評価対象外事業

事務事業名	小学校介助職員措置事業
予算科目	10 款　2 項　1 目
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとづくり～ 学校教育の充実
所管課情報	担当課：　学校教育課　電話番号（内線）：　089-989-9871
記入者情報	所属長：　田中 浩　担当責任者：　皆川 竜男
事業の性格	法定事務
実施期間	【開始年度】 平成　17 年度　【開始年度】設定なし
事業の対象	小学校生活支援員、校務員
根拠法令等	伊予市学校生活支援員設置要綱
事業の目的	障害等特別な事情から学校生活への適応が困難な児童に対し、保護者の要望により豊かな学校生活を過ごせるよう生活支援員を配置する。また、校務員を各学校に配置し、適切な学校運営に努める。
事業の内容	学校生活の介助等を行う生活支援員の配置及び正規校務員不在校への校務員の配置。
改善策の具体的取り組み（当初）	
改善策の具体的取り組み	

事業費及び財源内訳

項目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	34,536	38,457	15,227	37,612
	人件費	799	1,627	813	1,627
	合計	0	40,084	16,040	39,239
人件費内訳	人工数	0.10	0.20	0.10	0.20
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	799	1,627	813	1,627
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	35,335	40,084	16,040	39,239

事業活動の実績（活動指標）

項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
生活支援員配置人員	人	15	17	17	17
校務員配置人員	人	6	4	4	4

向こう5年間の直接事業費の推移

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	200,000

成果指標				
成果指標	配置人員／配置すべき人員×100			
指標設定の考え方	配置が必要と認めた人員については、確実に配置する。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目　標	0	1	0	0
実　績	0	1	0	0

自己評価				
自己評価（担当責任者）	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	就学指導委員会の判断に基づき適正な支援員の配置を行うことにより、学校や保護者と連携のうえ適切な介助を行い、児童が円滑に学校生活を送れた。また、正規職員のいない学校へ校務員を配置することにより、教育環境の維持整備が行われた。			

一次評価				
一次評価（所属長）	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	生活支援員については、人材の確保が課題である。研修の実施などにより資質の向上を図る必要がある。			

二次評価	
二次評価（所属部長）	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申	
外部評価 （行政評価委員会）	

経営者会議の最終判断	
事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	